

Maple通信

メイプルつうしん

2025.9

No.41



- 2 巻頭言
『中学・高校』
- 3 チャレンジする英和生
- 4~5 行事紹介
- 6 Begin your story、入試日程
『大学・短大』
- 7 多様性の中で育まれる「愛と奉仕」の心 /
子育て支援センター英和のオープンについて
- 8 有度山美食探訪 / 食と健康の未来を創造し「生きる力」を育む
- 9 TTTで気軽に英会話 / SNS 学生記者が静岡英和の「今」を発信していきます！
- 10 スチューデント・リトリートを感謝して / 進化を続ける楓祭
- 11 学院維持協力会
- 12 中高同窓会
- 13 大学・短期大学部同窓会
『事務局』
- 14 新任紹介欄 / 学院人事 / 理事会・評議員会
- 15 寄付者ご芳名 / 2025年度学校主要行事表
- 16 寄付金の募集について



第3期中長期計画策定に向けて



今、わが国では、令和6(2024)年の出生数は初めて70万人を切るなど、急速な少子化が進行する中で、未来を築く人材を育成し続け、そして、将来を切り拓くためには高等教育機関の再構築が不可欠とされています。このような背景の下、令和7(2025)年2月21日付で中央教育審議会から「我が国の「知の総和」向上の未来像〜高等教育システムの再構築〜」と題して答申が出されました。

その中で、私立短期大学については、地域に根差した高等教育機関であり、地方公共団体や産業界等との連携を強めながら、地域コミュニティの基盤となる人材を育成していると評価する一方で、進学ニーズの変化に伴い、近年多くの短期大学が学生募集の停止をしていく中で、地域で身近にある機関としての強みを生かし、短期大学の特性に応じながら、多様な学生が学

ぶ環境を整えていくことが必要であるとしています。また、私立大学については、学士課程学生の約8割の教育を担い、特に地方においては高等教育へのアクセス確保や地域にとって不可欠な人材の輩出等にも重要な役割を果たしているとしています。今後も引き続き、建学の精神や私立大学だからこそ担うことのできる役割を生かして、他大学等との積極的な連携の中で高等教育機関の一翼を担うことが期待されていますが、一方で、今後の更なる少子化を見据えた規模の見直しは不可避であり、意欲的な教育・経営改革が求められているとしています。

そこで、本学院は中学・高等学校を含めて役割や設置意義を踏まえ、社会からの期待、付託に応えるとともに、持続的に輝き続けるために長期の目標を定め、それを実現するための具体的な施策として、中期計画を策定する必要があります。第二期中長期計画は2025年度末をもって終了となり、2026年度から新たな5か年の中長期計画の作成にとりかからなければなりません。この中長期計画での取り組みの最優先課題は言

理事長 石井 博文

うまでもなく学生確保ですが、これを含めて次の三項目がとりわけ重要と考えています。

一 創立150周年を向けての学院のあるべき姿

- 創立150周年を向けた長期ビジョンの策定

二 財政基盤の安定化策(補助金・寄付金)

- 配分基準をできるだけ多く満たすことにより、補助金収入の増額を目指す

- 創立150周年募金に向けて目標金額を定め、その実現のための体制の確立

三 各学校の入学定員確保策

- 多様な学生・生徒確保のための戦略と体制づくり
- 学校・学部学科ごとの入学者確保のための数値目標の策定

これらを始めとする中長期計画を着実に実行することが、学院の維持・発展につながります。

「愛と奉仕」の精神を

未来へつなぐために

院長 永山 ルツ子



1887年、「日本女性の教養を高めたい」との願いのもと、カナダ人宣教師ミス・カニングハムをはじめ、カナダ・メソジスト教会婦人伝道会や静岡メソジスト教会の牧師、当時の静岡県令らの支援を得て、静岡で最初の女学校・静岡英和女学院が誕生しました。女子の中等教育制度すら整っていなかった時代、設立は大きな挑戦であったといえます。

そこから138年、短期大学の開設からは59年、大学設立からは23年を迎えました。本学院は創立以来、キリスト教に基づく「愛と奉仕」の精神を大切に、社会に貢献する人材の育成を使命として歩んでまいりました。

2025年4月より院長に就任し、その重責に身の引き締まる思いです。設立者たちの志に立ち返り、地域に根ざした学校

として、建学の精神に基づいた教育の実践に努めてまいります。社会は今、AIなど技術革新の進展により大きく変化していますが、どれほど時代が変わろうとも、人と人が互いに理解し支え合う心の大切さは変わりません。

少子化の進行により、教育現場には個性を尊重しつつ、教育の質を維持・向上させることが求められています。本学院ではキリスト教に基づく人間教育を土台に、地域社会と連携しながら、知識の習得にとどまらず、地域の未来を担う力を育む教育を推進しています。

静岡英和で学ぶ生徒・学生が、自らの夢を見出し、国際的な視野と共感力をもって、平和な社会の実現に貢献する人材に成長してくれることを心より願っています。



チャレンジする英和生

四月、生徒会を中心に越年していた校則の検討が一つの区切りを迎え、生徒自ら校則を改定しました。

五月に入りスタディ・ツアーでオーストラリア、奈良京都、イングリッシュキャンプ、中一は修養会と学年単位の体験学習が続きました。またインターハイ県大会などで活躍、そして英検にも多くの英和生が挑みました。

月末には体育祭が開かれ、体育局や生徒会が中心にスムーズ



に進行し、英和生の絆も深まりました。殊に学年毎の応援合戦ではトップバッターの中学一年生のパフォーマン스에館内が一気に盛り上がりました。頼もしい新入生たちです。

進路から見える

さて少子高齢社会の厳しい現実は今後も変わりがありません。特に高等教育（大学）は全国で次々と学生募集停止、閉学が続く広がりを見せています。

英和女学院にも多くの大学から指定校推薦枠の増加や提携の申し出があります。しかし反比例するかのよう、指定校推薦を利用する英和生の割合は減少しています。

もう大学、会社、社会の価値観に合わせて、自分の将来を考えるのは終焉を迎えています。英和生たちも就職率がいいとかの大学のネームバリューではなく、本当に自分が学びたい進路へ向けて挑戦しています。実際、この春の卒業生たちの進路はその傾向を反映しています。一般的に女子大でも学生数を

校長 大橋 邦一

伸ばしているのは、志願者のニーズに合う学部改編が成功した大学です。今後、国公立の推薦枠も増加、若い女子の県外流出の増加する静岡県の地域性も考え合わせれば高等教育の厳しさは一目瞭然です。



人工知能(AI)と学校

昨年の夏、短期の海外研修を始めたところ定員を上回る参加者がありました。また個人でも

カナダ、アメリカ、インド、フィジー、カンボジア、ニュージーランド、イタリヤなどへ中学生も含め9名が短期海外留学に挑戦しました。また昨年度の英検取得者数も過去最高でした。ここ数年、海外大学進学も続いています。

不登校、コロナ禍、オンライン授業の単位認定、通信制生徒激増、もう全日制普通科高校は教育のニーズに対応が困難な状況です。

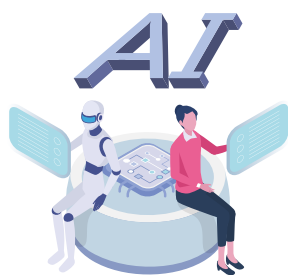
個別最適化、主体的な学びを実現するには、アクティブラーナー（自学自習）の育成が必要です。それらの課題は、もう人工知能（AI）と生成AI（ChatGPTなど）を利用し、十分可能となりました。

もう文科省が提唱する「学びの多様化学校」は、来年度、静岡県でも開学します。同時期、京都の嵯峨野高校、堀川高校では普通科を廃止し、専門的な分野の学び、探求の学びに特化した科だけとします。

生徒たちの未来は、おそらくAIが人間を使う時代です。だからこそAIを使う人間の育成が急務です。

教育の王道「不易と流行」や、アメリカの神学者ラインホルド・ニーバーの「変えられるものを変える勇気、変えられないものを受け入れる冷静さ、そし

て両者を見分ける知恵を与えたまえ」という祈りの言葉にもあるように、変わらないキリスト教教育に基づく人間教育を土台とし、変わりゆく時代に応えるように情報と英語に特化した学びが求められています。



行事紹介

メイプルコンサート

4月26日(土)「第42回メイプルコンサート」を、清水テルサで開催しました。

清水テルサは初めて使用する会場で、朝早くから舞台設営や音響チェックなどのリハーサルに追われながらも、緊張と期待に胸を膨らませていました。

最初に、音楽部によるステージ。昨年から音楽部の生徒たちは、韓国の指揮者チェ・フンチャ先生のセミナーで宗教曲の技術と精神を学び、神への賛美の歌声を育てていくことを大切にしています。その成果として3曲を披露しました。続いて、春一女生合唱曲集「うたをうたうとき」Mrs. GREEN APPLEの「春愁」、中学3年生4人だけで歌うラテ



ン語の聖歌「Laudate...」を、思いを込めて歌いました。第2部は、『ライオンキング』からの熱演。この日のために制作した衣装や小道具、考え抜かれた振り付けが織りなすパフォーマンスで、観客をデイズニーの世界へ誘いました。続いて『キャッツ』の曲をメドレーで披露。こちらは大掛かりな舞台装置が登場してステージを彩り、軽快なダンスでミュージカルの世界観を視事に表現しました。

続いては、吹奏楽部によるステージです。

第1部では、豪華客船タイタニック号を舞台にした壮大な物語を音楽で描き出した心揺さぶる演奏。情感豊かなメロディで観客を歴史の瞬間へと引き込み、深い余韻を残しました。

第2部では、ポピュラーミュージック、映画音楽などから4曲のメドレー「Code Blue」を披露。背景のモニターも効果的に使用し、曲に合わせて変化する映像が歌声を一層引き立てました。続いて、このコンサートで引退



する高校3年生5人のソロを含む人気曲のメドレーで会場を魅了しました。最後を締めくくるFUNKY MONKEY BABYSの「ありがとう」は、温かなメロディと感謝のメッセージが心に沁み、観客から大きな拍手が贈られました。

高2オーストラリアスタディーツアー

5月8日(木)～5月14日(水)、高校2年生はオーストラリアに研修旅行に行ってきました。高校1年生の後期から事前研修を行い、スローガンを「見聞広達」に掲げ、オーストラリアの文化、自然、人々の生活を自分の目で実際に見て学び、また、国際感覚を身につけることを目的としました。

1～2日目 成田空港～ケアンズ空港

長いフライトでしたが、早朝にケアンズに到着。その後、「ハートリースクロコダイルファーム」にて朝食。クロコダイルクルーズに乗船。



その後は、ボタニックガーデンを見学しました。BANORAスタッフよりホームステイのオリエンテーション後、いよいよホストファミリーと合流しました。

3～4日目 各自、ホームステイ

5日目

現地の小学校、St Gerard Magella Primary Schoolで小学生との異文化交流やアクティビティ、体験授業などをしました。事前に準備してきた各グループによる日本文化の紹介は大盛況でした。



6日目

世界遺産でもあるグリーン島とキュランダに行く2グループに分かれて研修しました。グリーン島では砂浜の散策やグラスボートでの海洋生物を身近に感じることができました。キュランダは、スカイレールで熱帯雨林に生息するクロコダイルや青い蝶をさがしました。また、山岳鉄道に乗り壮大な景色を見ました。

最終日、7日目

ホストファミリーと別れを惜しみ、ケアンズ空港より成田に向かいました。生徒たちはすべての行程を自分の目で、耳で、心で感じてきました。英会話力の伸長にも大きく影響し、今後、国際的な広い視野を持ち、世界に通じる自己の確立を目指してくれることと思います。



体育祭

5月29日（木）草薙総合運動場体育館このはなアリーナで「体育祭」を開催しました。

本校の体育祭は、中学1年生から高校3年生まで学年対抗で競い合います。学年ごとに緑、赤、紫、黄色、青、オレンジのカラーがあり、卒業してからも「自分たちの色」として大切にしていけます。6年間の学校生活において、特に思い出深いイベントの一つです。

長縄跳びから競技がスタートし、大玉送り、バトンの代わりと段ボール箱を運ぶ宅配リレーと進んでいき、白熱したクラス対抗リレーでは、応援の歓声が会場内に響き渡りました。学年対抗の体育祭ですが、必ずしも高学年が上位を独占するわけはありません。

競技の合間に中学2年生によるマスゲーム「かわいーだけじゃだめですか？」が行われ、ポンポンを持って笑顔で楽しそうに踊る姿に、客席の先輩や保護者から歓声が沸き上がり、大



きな拍手が送られました。

午前の最後は学年応援披露です。各学年が他学年にエールを送り合い、体育祭への意気込みを歌やダンスで熱くアピールします。中学1年生には先輩たちから温かい応援歌が、高校3年生には後輩たちから尊敬と憧れを込めたメッセージが贈られました。最後の体育祭となる高校3年生は、先生方への感謝の気持ちを込めた心温まる替え歌で想いを伝えました。

午後の部は、高校3年生による楽しいパフォーマンスで幕を開け、オレンジの学年の絆を存分に表現しました。

競技は、綱引きから。呼吸を合わせて姿勢を低く保ち、体重をかけてテクニクでは、経験豊富な高学年が一步リードしますが、必ずしも勝利するとは限りません。次に行われたのは障害物競争。2つの障害をクリアすると、テーブルに置かれた紙に書かれた先生を探し、一緒にゴールを目指す、内容盛りだくさんのゲームでした。更に玉入れ。新ルールが導入され、2名の先生が「お邪魔棒」を持ち、玉が入るのを懸命に妨害。生徒たちは制限時間いっぱいまで一心不乱に玉を投げ続けました。最終種目は、学年ごとのファイナルリレー。このリレーで総合優勝の行方が左右されることもあり、選手たちはバトンを繋ぎ、懸命にフロアを走り抜けました。

すべての競技が終了し、総合得点が発表され、高校3年生が有終の美を飾りました。そして1日を振り返ると、憧れの先輩を真剣な眼差しで見つめる後輩たち、初めての体育祭で戸惑う中学1年生を優しく支える先輩

たちの姿は、この体育祭が単なる競技を超えた素晴らしい機会であつたことを物語っていました。

花の日礼拝

6月7日に「花の日礼拝」が行われました。生徒たちは自宅から色とりどりの花を手に登校。宗教委員の生徒たちが、それらの花を礼拝堂のステージ前に飾り付け、色鮮やかな花で埋め尽くされて、よい香りが漂いました。

6月の第2日曜日は、キリスト教の行事の一つである「花の日」です。この行事は19世紀のアメリカに始まり、ある教会の牧師が子どもたちに信仰を育むことを願い、子どもたちの特別な礼拝を行ったことから生まれました。この取り組みは全米に広がり「子どもの日」として教会の行事となりました。数十年後、礼拝に花を持ち寄る習慣が生まれ、これが「花の日」と呼ばれるようになりました。

日本キリスト改革派静岡教会の服部先生の説教では「聖書の



言葉聞き、野の花や草を含めて、生きているもの、命に対するイエスの感性に触れていただきたい。そして、この感性を携えて福祉施設の訪問にお出かけください」とお話がありました。続いて生徒たちによる献金が行われました。集まった寄付は医療・福祉団体や県内の社会福祉

オープンイベントカレンダー

小学生、中学生の皆さんが参加できる静岡英和のオープンイベント一覧です。多くの方々の参加をお待ちしています。

◎小学生・中学生対象

英和祭（文化祭）
9/13（土）10:00～16:00

静岡英和のクラブ活動の発表や有志団体による模擬店、ステージの発表が行われます。

バザーやフードコートも充実！英和生が輝く、楽しいイベントです。ぜひご来場ください。

詳しくは本校HP・Instagramをご確認ください。

◎中学生対象

学校紹介
10/11（土）11:15（土）

中学生を対象に、本校の魅力や特色を紹介します。

高校授業公開
11/1（土）10:00～11:30

中学生を対象に授業公開を行います。

事前申し込みは不要です。当日ご来校ください。

学校クリスマス
12/20（土）

神の独り子イエス・キリストの誕生を祝うクリスマス。キャンドルに光を灯しながら、平和を祈ります。

◎小学生対象
中学入試説明会
10/11（土）11:15（土）

10/24（金）18:00～19:30

11/25（火）11:29（土）

施設などに、大切に贈られます。午後には生徒たちは花束を持って、静岡市内の社会福祉施設や児童養護施設などを訪問しました。1限目には、生徒たちが持参する花束を作る作業を行いました。それぞれが真剣な表情で花を選び、花束を仕上げる様子が印象的でした。

個別相談の時間はご相談ください。筆記試験、面接試験など入学試験についてご質問いただける個別の相談会です。

◎中学生対象
学校紹介
10/11（土）11:15（土）

13:30～15:00

中学生を対象に、本校の魅力や特色を紹介します。

高校授業公開
11/1（土）10:00～11:30

中学生を対象に授業公開を行います。

事前申し込みは不要です。当日ご来校ください。

高校入試説明会
12/6（土）12:13（土）

10:00～

これでバッチリ！入試対策！入試ワンポイントアドバイス（筆記試験、面接試験）

個別相談
12/16（火）12:20（土）

個別相談の時間はご相談ください。筆記試験、面接試験など入学試験についてご質問いただける個別の相談会です。

最新の情報は、こちらから



Begin your story

本校は、一八八七年（明治二十年）創立以来、社会状況が大きく変わっていく中であつても、キリスト教に基づく「愛と奉仕」の教えを守り抜いて、女子教育を実践してきました。そして、現在も、ひとりひとりが持つ未来への可能性を大切に育てるために、他では経験できない特色ある学校行事と雰囲気の中で、徹底した少人数による教育を展開しています。

さて、本校の進学実績を報告します。大部分の生徒が四年制大学への進学を考え、多くの生徒が第一志望の進学先に合格しています。進学準備の生徒は、過去三年でも数名です。「第一志望校への現役合格」、その実現性が極めて高いことが、本校の進学指導の特徴です。

今年度も七十三名の卒業生が、東京藝術大学、静岡県立大学、青山学院大学・関西学院大学・東京女子大学・国際基督教大学・慶応義塾大学などに進学しました。また、静岡英和学院大学・同短期大学部には、内部推薦制度を利用し、進学する生徒もいます。

本校の看板「英語のEWA!」。現在求められている実用英語の修得は、時代に先んじて長年実践してきました。例えば、カナダ姉妹校への1年留学と交換留学、ニュージーランド・カナダに3ヶ月間のホームステイ、オンライン英会話、県内のイン

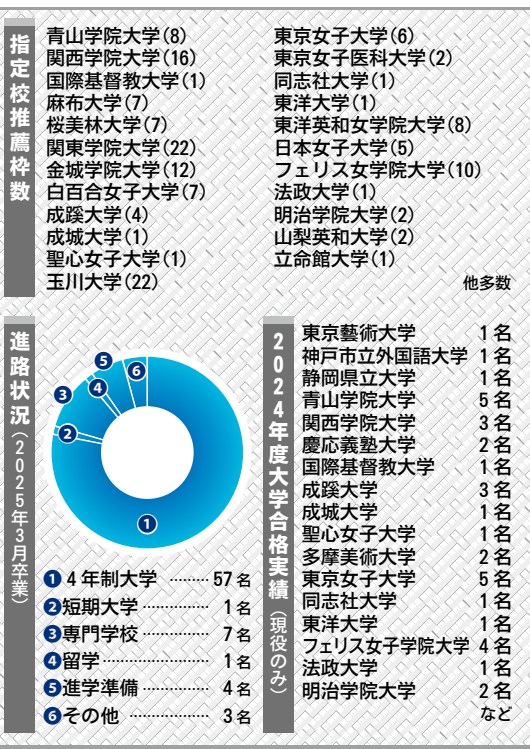
グリッシュ・キャンプなど、英語力を伸ばしたい生徒には魅力的な環境が揃っています。

それらを期待し、英語に興味関心のある生徒が、本校を受験するケースが増加しています。中学受験では、受験科目に英語を導入した上で奨励制度を設けています。出願時に実用英語技能検定（Ⅱ英検）三級以上の取得者は「入学金免除」となり、特典制度として、英検四級以上の取得者またはスピーチコンテスト入賞者は「入学検定料免除」となります。高校受験の特典制度としては、英検二級以上の取得者は「筆記試験免除」及び「入学金免除」、英検準二級以上の取得者は「入学金免除」となり、特典制度として、英検三級以上の取得者または、中学校の代表としてスピーチコンテストに出場した生徒は「入学検定料免除」となります。

高校募集も次第に軌道に乗り、今年度は19名の生徒が入学することとなりました。英和中学から進学した生徒と新しい友人たちはお互いリスベクトし、すぐに和やかな関係が生まれます。このことからわかるように、本校は女子だけの、落ち着いた平和な学校です。その先に充実した指定校推薦や、個別の進路指導があります。

是非本校での学校生活を多くの方にお伝えください。静岡英和女学院中学校・高等学校の最新情報は、ホームページで詳しく紹介しています。ホームページでは、生徒が中心になって作成した動画なども配信中です。また、同窓会の活動のページもご覧ください。

今後とも本校の教育活動にご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。



2026（令和8）年度 中学入試日程	
A日程	出願期間 2025年12月6日（土）～12月15日（月）
	出願方法 Web出願（本校ホームページよりお手続きの上、出願書類を本校まで提出してください。）
	試験日 2026年1月10日（土）単願（定員70名）スポーツ実績優秀者受験は、A日程のみ15,000円
	検定料 免除条件 (1)出願時に、英語検定4級以上、漢字検定4級以上、数学検定4級以上の資格を取得している者又は同等の資格取得者 (2)小学校在籍時に英語スピーチコンテスト等で入賞し、賞状等を受け取った者
	合格発表 2026年1月11日（日）14時に本校HPにて発表 入学関連書類交付 2026年1月11日（日）に本校事務室より郵送 ※納入金振込期限：1月15日（木）
B日程	出願期間 2026年1月14日（水）～1月22日（木）
	出願方法 Web出願（本校ホームページよりお手続きの上、出願書類を本校まで提出してください。）
	試験日 2026年1月24日（土）併願可（定員20名）
	検定料 15,000円（ただし、A日程に出願した場合は無料）
	合格発表 2026年1月24日（土）14時に本校HPにて発表 入学関連書類交付 2026年1月27日（火）本校事務室より郵送 ※納入金振込期限：1月29日（木）
C日程	出願期間 2026年1月25日（日）～1月29日（木）
	出願方法 Web出願（本校ホームページよりお手続きの上、出願書類を本校まで提出してください。）
	試験日 2026年1月31日（土）A・B日程受験との併願は不可とし、スタンダードクラスのみとする。
	検定料 15,000円
	合格発表 2026年1月31日（土）14時に本校HPにて発表 入学関連書類交付 2026年1月31日（土）本校事務室より郵送 ※納入金振込期限：2月5日（木）

特待制度・奨励補助（授業料等減免）制度

入学試験成績優秀者 A日程のみ	入学科220,000円の納入免除	当日の学力試験、面接等を総合して選考
英数資格保持者	入学科220,000円の納入免除	出願時に英語検定3級以上の合格証明書を提示 出願時に数学検定4級以上の合格証明書を提示
スポーツ実績優秀者 入試に実技テスト有り A日程のみ	入学科220,000円の納入免除	新体操・バスケットボール・バドミントン・テニスの（硬式・軟式不問）ベルテックス静岡 U-15 所属予定者
奨励補助制度	本校中学校・高等学校及び静岡英和学院大学、静岡英和学院大学短期大学の在校生の姉妹、本校同窓生の子女と姉妹を対象	

2026（令和8）年度 高等学校入試日程	
本試験	出願期間 2026年1月14日（水）～1月22日（木）
	出願方法 Web出願（本校ホームページよりお手続きください。）
	出願書類提出 2026年1月27日（火）～1月28日（水） 9:00～16:00
	試験日 2026年2月3日（火）定員120名（但し、併設中学校からの進学者を含む。） 追試験 2026年2月9日（月）15,000円
	検定料 免除条件 (1)出願時に、英語検定3級以上、漢字検定3級以上、数学検定3級以上の資格を取得している者又は同等の資格取得者 (2)中学校在籍時に英語スピーチコンテスト等に学校代表として出場した者又は同等の成績を修めた者
再募集A日程	合格発表 2026年2月13日（金）正午にHPにて発表
	入学納入金振込期間 単願者 2026年2月14日（土）～2月19日（木） 併願者 2026年3月14日（土）～3月16日（月）
	出願期間 2026年2月13日（金）～2月17日（火）
	出願方法 Web出願（本校ホームページよりお手続きの上、出願書類を本校まで提出してください。）
	出願書類提出 2026年2月17日（火）9:00～16:00、2月18日（水）9:00～14:00
再募集B日程	試験日 2026年2月19日（木） 定員若干名（入学者が定員に満たないと判断される場合に実施します。）
	検定料 15,000円
	合格発表 2026年2月24日（火）正午にHP上にて発表
	入学納入金振込期間 単願者 2026年2月25日（水）～2月28日（土） 併願者 2026年3月14日（土）～3月16日（月）

特待制度・奨励補助（授業料等減免）制度

特待生	入学科160,000円の納入免除＋月額授業料の内「奨励補助規定に基づく金額」を1年間奨学金として免除する。	調査書に加え、当日の学科試験、面接を総合して選考
準特待生	入学科160,000円の納入免除	
英語検定準2級以上の取得者	入学科160,000円の納入免除	出願時に英語検定準2級以上の取得証明書を提示
スポーツ特待制度	入学科160,000円の納入免除	新体操・バスケットボール・バドミントン・テニスの（硬式・軟式不問）ベルテックス静岡U-18所属予定者
奨励補助制度	本校中学校・高等学校及び静岡英和学院大学、静岡英和学院大学短期大学の在校生の姉妹、本校卒業生の子女と姉妹を対象	

多様性の中で育まれる「愛と奉仕」の心

学長 永山 ルツ子



この春、本学には留学生44名を含む222名の新生が加わりました。ミャンマー出身で地震の被害を受けた学生をはじめ、ネパール、スリランカ、ベトナム、インドネシア、中国、インド、リトアニアなど、多様な国・地域からの留学生に加え、障がいのある学生や、社会人経験を経て学び直す学生も在籍しています。互いの違いを認め合いながら共に学び、成長する姿は、本学の教育の原点である「愛と奉仕」の精神を改めて思い起こさせてくれます。

今年度は、静岡市との連携により、県内で初めて大学内に「地域子育て支援センター」が設置されました。地域の子育て家庭との自然なふれあいの中で、学生たちは「愛と奉仕」を実践的に学ぶ機会を得ています。

また、清泉寮で行われたスチューデント・リトリートでは、留学生を含む学生同士、そして教職員との絆を深める貴重な時間となりました。緊張していた新生の表情が徐々にほぐれ、笑顔に変わっていく様子を目の当たりにし、平和な学びの環境を守る責任の重さを実感し

ました（写真はキャンプファイヤーの様子）。



私たちは、とすると自分と異なる考えや意見に対して拒否的になりがちです。相手の意見を受け入れることが、自分の否定や敗北のように感じられ、時に感情的な対立を招くこともあります。しかし、耳をふさぎ、敵意を抱き続ければ、やがて自らも周囲から孤立してしまうかもしれません。

異なる背景をもつ相手だからこそ、その文化や価値観を尊

重し、思いやりの言葉をかけることが大切です。イエス・キリストがこの世にお生まれになった意味も、隣人愛にあるのではないのでしょうか。多文化共生社会の一員として、本学で育まれた「愛と奉仕」の心が、キャンパスサービスの炎のように、やさしく広がっていくことを願っています。

子育て支援センター英和のオープンについて

教学特別参与 川島 貴美江



2025年3月、本学に子育て支援センター英和がオープンしました。本学と静岡市は、子育て支援の充実に向けて連携協定を締結し、支援センター開設は、協定に基づく取り組みの一环として実現したものです。大学内に子育て支援センターが開設されたのは県内では初めての試みです。オープン当日の様子は、多くのテレビ・新聞報道で取り上げられました。当日、保育士や幼稚園教諭を目指す学生が絵本の読み聞かせや手遊びを行いました。学生自作の制作物を使って親子と触れ合う体験は、保育実習と同じく、保育の意義ややりがいを感じる機会になったと思います。子育て支援センターには静岡市職員3名の保育士が勤務しており、学生にとって保育の実際に学ぶことは沢山あります。支援センターがオープンして以来、利用者は途絶えることがなく、支援センターに来所した親子がキャンパスを歩いていた、図書館前の陽だまりのベンチでくつろいでいる姿があったり、図書館、食堂など大学施設を利用して学生の中に溶け込んでいる光景が日常的に見られるようになりました。溢れる子どもの笑顔は、すべての学生、教職員にとってこの上ない幸せと喜びをもたらせてくれています。

本学のコミュニティ福祉学科では、2011年から2019年まで、新館ラウンジにおいて、学生による子育て親子広場「あちよぼ」を開催してきましたが、コロナ禍によりやむなく中止になっていました。「子育て親子広場 あちよぼ」の実績は、子育て支援センター設立へと導かれたものと思います。

子どもや子育て家庭は、地域社会の中で生活しています。子どもたちを取り巻く環境が多様化・複雑化する中、子育て支援センターが初めて大学内に設置されたということは、大学の持つ専門的な知見を生かし、子育て支援センターとの連携・協力の在り方を模索する良い機会となります。さらに、子どもの育ちを支える様々な専門職の人達の働く地域に質の高い人材を輩出し、地域に貢献するという本学の建学の精神に改めて立ち返り、地域と一体となって子育て支援に取り組む大学の役割を果たして参りたいと思います。

最近、卒業生の母子が支援センターに来所し、学友や教員との再会を喜んでいました。子育て支援センターは、遊びの提供、子育て相談、親子の触れ合いの場を提供しますが、卒業された皆様のカミングホームとなりますよう願っております。

有度山美食探訪

2003年の観光立国宣言を発端に、「住んでよし・訪れてよしの国づくり」という政策目標が掲げられた。20数年を経た現在、「訪れてよしの国」の実現については各界で一定の評価を得ているものの、「住んでよしの国づくり」については、いまだ慎重な見方をする人々も少なくない。

言い換えれば、観光振興と地域社会の暮らしのあいだで、どのようにバランスを取るのかという課題が、依然として私たちの前に横たわっている。もし、二者択一で答えが出せるものであれば話は簡単だが、人口減少と高度観光化社

会に向き合うこれからの時代においては、それが「暮らしのなかの宿題」として、私たち一人ひとりに問われている。

次々と目新しいものが登場する現代にあつて、そうした移り変わりのなかで、観光の学びを通して「人々が何を大切にしているか」を見極めることが、今あらためて求められていると実感する。旅人の眼差しに立つて言えば、旅先で出会う地域の日常、そこにある喜怒哀楽を見つめて学ぶ——その営為こそが観光なのである。

まずは自らの暮らしす街を観光



観る・食べる・学ぶ

有度山

美食探訪

2024年
11月16日(土)
17日(日)

参加費用 5000円/名

募集人数 各コース 20名限定

16日(土) コース①(午前) 有度山展望台と道の駅に訪れる有度山通り

17日(日) コース②(午後) 久能山の文化の里から望む日本平の景観と地元グルメの街

コース③(午後) 久能山の文化の里から望む日本平の景観と地元グルメの街

お問い合わせ
静岡英和学院大学 郭育仁研究室
TEL 054-262-0091
MAIL eiwagastronomy@gmail.com

主催: 静岡英和学院大学 郭育仁研究室
協賛: 静岡市・静岡英和学院大学・岡崎大学部・清水中央ロータリークラブ

人間社会学科 教授 郭 育仁

することから、「住んでよしの国づくり」は始まっていくはずだ。2024年の秋、静岡英和学院大学人間社会学科・観光地域デザインメジャーで学ぶ学生たちとともに取り組んだ食のイベント「有度山美食探訪」は、その一例である。本学の所在地である有度山に息づく「人・物・事」を紡ぎだす本事業は、学生たちが苦勞をいとわず自らの足で地域を歩き、人々と関わりながら、自分たち自身のために織り成した「感幸物語」である。詳細については、公式HP「有度山美食探訪」に譲りたい。

静岡の大人たちもこうした次世代の育成に対し、深い理解と惜しみない支援を寄せてくださっている。静岡市観光交流文化局・観光政策課をはじめ、清水中央ロータリークラブ、久能山東照宮、日蓮宗青龍山本覚寺、日本平夢テラス、ファーマーズピッツェリアDON FARM、日本平紅茶店、海ぼうず、JA静岡市長田支店、長田唐芋農家、FMしみず、静岡FM・Hiなど、多方面から多大なるご協力を賜り、学生一人ひとりが自らの成長を実感できる「協育の場」を創出することができたのである。

食と健康の未来を創造し「生きる力」を育む

食物栄養学科 准教授 小川 ももこ

食物栄養学科は未来を担う栄養士を養成する学科ですが、資格取得に留まらず「生きる力」に直結する科学的な思考力や調理技術、そして、豊かなコミュニケーション能力を養う授業を数多く展開していることが特徴です。学生の中には、一度社会経験を積んだ後「もっと自分の可能性や知識を広げたい」と意欲的に学び直している学生もいます。

学びの一部をご紹介しますと、1年生のうちには栄養士の基礎となる科学や調理を学習し、2年生では本学科の名物である「100食実習(給食管理実習Ⅰ)」、7月には病院や福祉施設などでの「学外実習」を通じて現場での貴重な経験を積みみます。

また、地域企業との連携も活発で、メニュー企画や商品開発にも学生は積極的に参加しており、実践を通して机上の知識を社会で役立つ力へと昇華させています。



本年度からは「カフェスイーツコース」「ビュッティウエルネスコース」という新たなコースも開講します。栄養士養成の授業では行わない製菓やカフェの授業や、健康的な美しさについて専門家を招いての学習を行うことで、食や健康の専門性をさらに深めることができるようになりました。

食を通して自分や家族の健康を守りたい、健康的な社会づくりに貢献したい、新たな食の可能性を追求したい……そんな皆さんを本学科は全力でサポートします。

TTTで気軽に英会話

現代コミュニケーション学科 准教授 リチャード M. ウッドワード

毎週木曜日、午後3時から5時まで短大生と大学生を対象に、リラックスした雰囲気の中で、自由に英語を話したい人のための英会話タイム「Thursday Talk Time」を行っています。場所は、NESTラウンジ(N505)で、ドリンクやお菓子を楽しみながら、BGMが流れる中でゆったりとした雰囲気で開催しています。

授業ではないので先生が指導せず、学生は自由に話したいトピックを考えて来ます。そのため話の内容が次々と変わっていきます。会話が途切れて話題が思いつかなくなった場合は、「会話カード」が入った箱からカードを引いて、書かれている質問などに答えながら再び会話を始めます。4時限目と5時限目に開催されていて、参加時間は自由です。ほとんどの学生は50分くらい参加しています。

TTTは補習のための英語クラスではないので、学生の文法や語彙の知識を向上させるための指導はありません。流暢さを維持または向上させたい人のためです。通常、学生は既にこれらの知識を十分に習得しており、より自然な状況でその知識を活用する機会を増やしたいと考えています。短大生と大学生、1年生から4年生、日本人、外国人、どなたでも参加できます。時には、教員やスタッフが加わることもあります。

最近では、留学プログラムに参加する予定の学生が出発前の準備として、または帰国した学生が習得した英語力を維持するために、TTTに参加しています。

英和学院大学・英和学院大学短期大学部では、多くの英語科目を履修できます。これらの科目は主に英語のスキルの向上を目指しています。学生は英語のそれぞれの能力（スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、語彙、発音、プレゼンテーションスキルなど）を伸ばすことができます。授業では、目標や教科書の内容などによって活動が制限されるか、あるいは制御されてしまうのが現状です。そのような環境で基礎を学ぶことは、言語能力の向上、ひいては流暢さを身につけるための重要な段階の一つですが、コミュニケーションを唯一の目的とする、自由で制限のない環境に触れることも同様に重要です。このような機会では、学生が通常の授業で学んだ言語を実際に習得して、自分自身の言語力にする可能性を高めます。

私自身もTTTの時間で、英語を使って学生と本当のコミュニケーションができることに大きな満足感を感じています。授業で指導している時よりも、リラックスして冗談を言い合い、ありのままの自分でいられます。学生が様々な話題で会話してい



るのを聞くのが楽しく、参加する中で互いに学び合う姿を見るのも大きな喜びです。この機会のもう一つの重要な側面は、「ワールドイングリッシュ」という考え方です。世界には多くの英語のバリエーションがあり、参加者は、日本、ベトナム、バングラデシュ、インドネシア、中国、スリランカ、ミャンマー、イギリスなど、様々な国の人々の英語を聞く機会があります。これは、色々な発音に耳を慣らし、自分の言いたいことを相手に伝えようとするという課題を伴います。このように、TTTは学生の将来の実社会でのニーズを満たす出発点でもあります。なぜなら、彼らは英語が標準語である国の人たちとコミュニケーションをとる機会よりも、アジアの中で英語を共通語として使う可能性が高いからです。

入試課・広報課では、公式SNS (Instagram等)を活用し本学の魅力を広くアピールするために、様々な話題や情報、トピックについて取材する「学生記者」を5月に募集しました。

昨今は、Instagram等のSNSによって情報を得ることが日常化しており、静岡英和の「今」を広く伝えるためには、実際にキャンパスで日々学業に励んでいる学生の視点が重要となります。「静岡英和が好き!」「英和をもっと盛り上げたい!」「英和の隠れた魅力を知っている」という学生や、「将来は広報や広告についての仕事をしたい」「人と関わる力を身につけたい」「在学中に何かをやり遂げたとと言えることを作りたい」という学生を求めたところ、大学・短期大学部合わせて6名の学生から名乗りが上がり、学生記者として活躍していただくこととなりました。

まだまだ立ち上げたばかりの企画ですが、6月15日に開催したオープンキャンパスには2名の学生記者が早速取材を行い、公式Instagramに写真や記事が徐々にアップされているところです。

今後も静岡英和の「今」を発信してまいりますので、右記の二次元コードから本学公式Instagramを是非フォローいただきますよう宜しくお願いいたします!



フォロー、「いいね!」をお願いします。

SNS
学生記者が
静岡英和の
「今」を発信
していきます!

スチューデント・トリートメントを感謝して

宗教主任 佐々木 謙一

静岡英和学院大学は、基本理念として「愛と奉仕の実践」を実行することを目的として、キリスト教と聖書を学び、その歴史性と高い倫理観、豊富な思想と想像力を通して、地域社会に貢献できるような人間形成を目指しています。

また、キリスト教の授業と礼拝は、本校のキリスト教教育の基点となっています。そして、これと同等な位置づけにあるのが「スチューデントトリートメント」です。新入生が本校で学びを始めるにあたって、この「スチューデントトリートメント」は大変重要な役割を担っています。なぜなら、それは基本理念である「愛と奉仕の実践」を体験できる機会だからです。初めて会う人たちと共に話し合い、共に食事をし、

共に同じ屋根の下で一晩過ごすことで、今までの人生では体験することのできなかった人と助け合い、思いやりをもって行動することを実感することができました。このような理由から、本校はこの「スチューデントトリートメント」を大切にしているのです。

本年は、4月19日（土）・20日（日）に山梨県北杜市高根町清里にある清泉寮において人間社会学部・短期大学部合同で行うことができました。

1日目は昼食の後「開会礼拝」を行い、その後「分かち合いの時間」で各学科の先生方と上級生からお話をいただきました。また、「グループ別行動」において新入生同士が初めて話す人たちとコミュニケーションを取ることで大変有意義な

時間を過ごすことが出来ました。そして、夕食後には「キャンドルサービス」と「キャンプファイヤー」を行いました。これらの体験は人生初めての経験であっただけではなく、今後の人生にとっても貴重な思い出となったようです。

2日目は朝6時に全員で「ラジオ体操」を行い、朝食後「開会礼拝」行うことで清泉寮でのプログラムを終了し、その後は「富士急ハイランド」に移動して充実した時間を過ごしました。

終了後に行ったアンケートによれば、「大変楽しかった」など喜びを持った答えを聞くことができました。「キャンドルサービス」や「キャンプファイヤー」は、特に思い出に残った行事としてあげられていました。

このように、本年も新入生のために「スチューデントトリートメント」が行えたことを神様に大変感謝しております。

最後に、皆様方にいつも静岡英和学院大学をご支援していただいていることを感謝しつつ、主イエス・キリストに従ってよい教育を行って行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いしたいのであります。



進化を続ける 楓祭

昨年11月16日（土）・17日（日）に第59回楓祭を開催しました。

天候にも恵まれ、2日間合わせて約1,500名の方にご来場いただきました。メイン企画は1日目に声優の柿原徹也さんのトークショー、2日目に一昨年も大好評であったマグロ解体ショーを行いました。柿原さんのトークショーでは楓祭初の有料開催となりましたが、北は北海道、南は九州の長崎など全国から楓祭にご来場いただきました。マグロ解体ショーではマグロの大きさをグレードアップし、お客さんに楽しんでもらいながら、美味しい国産の本マグロを食べていただきました。

新たな試みにもチャレンジしました。広報



では、イラストサークルがボスターやチャリンのデザインを作成し、静鉄電車と静鉄バスに楓祭直前の約2週間、車内広告を掲載いただきました。

他にも、静岡市内の学校関係（大学・高等学校・専門学校）では初となるPayPayを学園祭に導入しました。希望団体のみではありませんが、お釣りが少なくて済み、お金を触らないため衛生的な店舗運営が可能になりました。収入管理も容易になり、今後有効的に使っていくと考えています。

本年は11月15日（土）、16日（日）に節目となる60回目の楓祭を開催予定です。60周年記念の楓祭として企画を練っている最中です。多くの方のご来場をお待ちしています。



静岡英和学院維持協力会《静岡英和フェローシップ》

御挨拶

静岡英和学院維持協力会 会長 望月 大輔



常任理事会報告

2025年8月25日午後1時30分から、2025年度維持協力会常任理事会が開催されました。

会議は、左記の議案についてご審議をいただき、全員の賛成により承認されました。なお、第2号議案では、2025年度会長に望月大輔氏が選任されました。

第1号議案 役員の選任について
第2号議案 会長の選任について
第3号議案 2024年度事業報告並びに収支決算について
第4号議案 2025年度事業計画並びに収支予算について

維持協力会は、学院がその教育方針と教育目的に基づき教育を行い将来に向かって発展を続けるために必要な経営基盤の確立に寄与すること、また教育環境の整備の向上を援助する目的として発足しました。

同窓生や関係者の皆様のご協力を得ながら、学院を盛り上げてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2024年度事業報告

●事業活動関係
事業費

大学・短大

図書館の図書購入費用

200,000円

新館の複合機導入費用

503,470円

中学・高校

ホームカミングデイ補助

40,512円

体育館暗幕

957,000円

静岡英和学院維持協力会役員名簿

2025年8月26日現在

役職名	氏名	選出根拠（規則第6条）
会長	望月 大輔	中高PTA会長
副会長	河岸 照美	大学後援会長
〃	岡本美由紀	大学・短大同窓会長
〃	森田 拓子	中高同窓会長
常任理事	川瀬 昌之	大学後援会副会長
〃	永田 央	中高PTA副会長
〃	榎戸 真弓	大学・短大同窓会副会長
〃	池ヶ谷知代	中高同窓会副会長
〃	永山ルツ子	大学・短大部 学長
〃	大橋 邦一	中高 校長
〃	松澤 重喜	事務局長
〃	石岡裕次郎	法人理事
〃	山田美代子	法人理事
会計	新名 隆大	大学後援会会計
〃	秋山ひろ子	中高PTA会計
〃	境 大輔	事務局財務課長
監事	鈴木 敬子	大学後援会監事
〃	井出 純子	中高PTA監事
顧問	石井 博文	法人理事長

賛助会費納入者御芳名

（敬称略／順不同）

2024年4月1日～2025年3月31日

●法人会員

(株)セノ

(株)アイコビルサービス

御庭番もちつき

(株)門田電話工業所

(株)トノイケ

●個人会員

伊藤美香・通宏、上柳靖

森田拓子、ホームマルク紀子

大塚由季

匿名希望 9名

静岡英和フェローシップ —英和を支える仲間《賛助会員》を募ります—

学院の更なる発展、教育環境の整備、拡充を図るため、より多くの方々が賛助会員として参加され、一層のご支援・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

静岡英和学院維持協力会 会長 望月 大輔

●賛助会員資格

本会の趣旨にご賛同くださる方は、どなたでも会員になれます。

●賛助会員費（年間／1口）

個人： 5,000円

法人： 10,000円

（複数口お願いできれば幸いです）

●入会時期

いつでもご入会をお受けしております。

●賛助会費納入口座

郵便局：名古屋00810-5-35256

加入者名：静岡英和フェローシップ

※ご助力いただける方は同封の振込用紙（振込手数料本会負担・郵便局用）をご利用ください。

中高同窓会

◆ご挨拶



同窓会長 森田 拓子
1981 (昭和56) 年卒

同窓生の皆様、
おかわりありませんか。私達は
今、各国の国際
情勢や気候変動、お米問題や物価
高とさまざまな事象が絡み合う、
過去の常識が通用しない複雑な時
代に直面しています。

そうした社会の中、英和生とし
て心の教育を受け、優しさの土台
づくりをした私達は、人間の幸せ
は、本来の自分自身を生きること
だと知っています。今の自分に自信
を持って胸を張り、日々新しい一
歩を踏み出して参りましょう。

◆特別寄稿

昨年度末をもって、鈴木秀直教
頭先生が定年退職を迎えられまし
た。鈴木先生には、長年に亘り同
窓会活動にご尽力を賜り感謝申し
上げます。奥様もお嬢様も同窓生
という環境に加え、お優しいお人
柄、思慮深いお言葉の数々にいつ
も同窓会は助けていただきまし
た。「学校に居る頼りになる同志」
としてかけがえのない存在の鈴木
先生に、今回改めて同窓会に向け
て寄稿をお願いいたしました。



女子でもなけ
れば卒業生でも
ない自分に、栄
えある静岡英和
女学院同窓会の
「準会員」という名誉な地位を森
田拓子会長から拝命し、身が引き

締まる思いです。創立一四〇年になろうとする学院の同窓会が歩んできた長い歴史の中で、男子で委員として関わる事が許されたのは、たぶん自分が唯一初めてではないかと思っています。

昨年までは、教頭として折あるごとに、同窓会と関わらせていただきました。セーラー服百年の節目には、学院の維持協力会や法人の力も拝借しながら共に記念イベントを企画運営させていただきました。同窓会は学校経営にとって一番の協力者であり、細かな配慮や気遣いや援助を常にいただけてきました。ワールドワイドな時代の流れの中でICT機器や生成AIの発達と共に、日本の教育の流れやトレンドも変わってきましたが、「不易流行・変えるべきものと変えてはいけないもの」を常に強く意識してきたのが学校経営者ならびに、同窓会の皆様方だったのではないかと感じております。一方で、「老舗の伝統は革新の連続である」との考えを受け入れながら時代の流れに敏感に反応し、柔軟性を持ってしなやかに対応してきられたのも同窓会の方々だったと思います。

昨年、定年退職で四十一年勤務させていただいた静岡英和女学院中学校・高等学校を去ることとなりましたが、本年度からは教育顧問と英語の非常勤講師という立場で微力ながら学校を支える立場となりました。不易流行に関係なく、生徒募集と学校改革と世間への広報活動は待ったなしです。広報部と協力しながら学校の募集広報の

お手伝いを力を尽くして行っていくつもりです。中部地区はもちろん東部地区から西部地区まで本校の良さを伝え生徒募集を活発に展開していきます。

最近の潮流は女子校や女子大の人氣が陰を潜め、法人自体を巻き込んだ厳しい経営の様がニュース等で伝えられています。かつての短大人氣の時代と比べると隔世の感があります。しかし、女子校には女子校でなければ果たせない教育の魅力と特性があります。世間の理解が女子校の本質に触れれば、世間に数多く存在している共学校では決して真似できない質の高い教育と女子生徒に最適な教育環境があることを知るでしょう。

英和は女子教育の王道を未だ堅持している数少ない学校です。その魅力を一人でも多くの人々や学校現場の先生方に伝えて参ります。在校生、教職員、同窓会や英和サポーターズ、後援会などこの学校に関わる皆様が力と思いを合わせて、英和教育の充実と発展に一層貢献できる体制作りにお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

もうおひとり、昭和五八年卒業で母校の聖書科長であった武井裕賀里先生も昨年度末をもって退職されました。武井先生には、総会やホームカミングデーでの礼拝をはじめ、同窓会活動にも、たくさんのご協力いただきました。



一九八三年、
緑の学年だった
英和女学院を巣
立つ時、母校に
戻って聖書の先生
になりたい、という大きくて無
謀な夢を胸に抱いておりました。

静岡英和で学んだ聖書の教えを伝えていきたい、英和の制服に囲まれて過ごしたい、「その望みをちゃんと叶えるんだよ」―多くの先生たちの言葉に「はい、必ず!」と大きく返事をした私は、教育実習は進学した大学の中学部で行い、以降、母校に奉仕させていただくこともなく、神戸の学校に就職し、神戸で結婚、生活…と英和と関わることもなく過ごしてきました。

聖書の先生になる夢を叶えた学校で、聖書の御言葉を語り、讃美歌を教え、きつこのまま、と考える中、神様は私の「初心」を覚えていてくださり、私を母校静岡英和女学院へと導いてくださいました。

九年間、時代の流れの中で変化してゆく母校を自分の目で見つけつつ、同時に自らの手で母校を大きく変えてゆくことはできなかったけれど、何かあるたびに仲間の先生たちや英和生たちと、一喜一憂、共に笑い、共に涙を流した九年間は、私にとって本当に思い出深い、また貴重な期間です。やり残したこと、伝えきれなかったこと、まだまだたくさんあるけれど、若い魂が出会って、気付いて、継承していくてくれることを、今度は同窓生として、心から願っています。同じ制服を（着こなすはずいぶん変化しただけ）着た仲間として、これからの英和生が母校を大切に育ててくれることを祈ります。

◆支部会報告

昨年度支部は、東京支部、九州・山口支部で支部総会が開催されました。静岡の地をはなれても、母校に想いを寄せていただき、ご援助くださいます同窓生の皆様には感謝申し上げます。当日の集まりでは、

学年を超えて、楽しかった思い出話がはずみました。なお、九州・山口支部会は、前アメリカ支部長の村田武子牧師（昭和二六年卒・カナダ在住）の一時帰国に合わせて開催され、人生の先輩の心に響くお話を聞きすることができました。



九州・山口支部総会 令和6年11月9日



東京支部総会 令和6年6月22日



発行していた会報



図書館に寄贈したDVD

◆ご挨拶

会長 岡本 美由紀
(英文学科・16期卒)

まだまだ暑い日が続いておりますが同窓生のみなさまは、いかがお過ごしでしょうか。今年度より会長に就任いたしました岡本美由紀でございます。

同窓会に携わるようになり、14年ほどが経ちました。今までは文書管理等の裏方をしておりましたが、これからは表に出る機会も多く戸惑っているのが正直なところでございます。私でもお力になることがあればと思ひ、お引き受けした次第です。同窓生のみなさまの母校を慈しむ気持ちに繋がりますよう、努めてまいれる所存でございます。

大学・短期大学部同窓会

◆同窓会について

「静岡英和学院大学および静岡英和学院短期大学部同窓会」は、静岡英和女学院短期大学を1968年3月に卒業した原崎悦子氏(国文1期)が初代会長に就任したことに始まります。そして鈴木直子会長(国文4期)が組織化し、1975年に会報第1号を発行、10月に第3回総会を開催しております。福島照代会長(国文2期)は20余年、職に就かれ1999年11月に規約を制定くださいました。

馬淵みどり会長(国文4期)が学校とのパイプを太くし、対外的にも活動を活性化されたようです。前田節子会長(食物31期)は中学から大学までの卒業生名簿を一元化して管理するシステムを導入し、規約改定もしてくださいました。石田律代会長(国文4期)はクリスチャンとしてミッション系大学同窓会の在り方、方向性を



同窓会役員

◆これから…

同窓生のみなさま、学生として在籍している準会員のみなさま、お勤めされている教職員の方々、そして中学・高校同窓生のみなさま、皆様のお導きがあり静岡英和学院に集えたと思っております。このご縁を大切に、これからも同窓会として歩み続けていけたらと思っております。宜しくお願い申し上げます。

◆退任のご挨拶

静岡英和学院大学および静岡英和学院短期大学部同窓会
前会長 安田 成希
(地域福祉学科4期卒)

示し導いてくださいました。安田成希会長(地域福祉4期)は、4年制大学卒の初代会長として学生との関係を構築くださり、留学生の支援にも力を注ぎ今に続いております。

歴代会長が築いてくださったものの、繋がりをお願いしてまいりたいと思っております。

◆25年度総会について

今年度は、静岡英和女学院中学校・高等学校同窓会と合同で開催いたしました。中高礼拝堂での開催は、厳かで良かったと思っております。またお互いの同窓会を知る、良い機会であったとも思います。

これからの時代、「オール英和」での取り組みが必要になって来るかも知れません。同窓生のみなさまのご支援をお待ちいたしております。

2025年5月10日に開かれた同窓会総会において、同窓会長を退任いたしました。約7年間、四大卒業生として初めて同窓会長を務めてまいりましたが、まだまだ若輩者の私には力の及ばないことばかりでございました。

就任からほどなくして世界中は新型コロナウイルスの感染が拡大し多くの混乱に包まれました。静岡英和に携わる皆さまの中にも、お仕事やご家庭での取り組みで、お辛い思いをされた方もいらっしゃると思います。今もなお、その後遺症と戦っておられる方や悲

しみの中におられる方へ、謹んでお悔やみを申し上げます。

一方で、大変多くの夢を見させてもらった期間であったと回顧します。

・日本語能力試験合格者への支援(留学生)

・図書館への図書購入支援(維持協力会連携)

・ボランティアセンター学生スタッフとの共同活動 など

未来ある学生たちの為に、力を尽くしてきたこの7年間は、四大卒の私にしかできない「架け橋」となる取り組みだったと思ひ返しています。

本学の学院聖句には「隣人を自分のように愛しなさい」と書かれています。1世紀以上前からこれは変わりません。自分自身を大切にし、そしてお互いを認め、敬い合っていく。その精神を持った生徒/学生/卒業生の集まる静岡英和は世界中に胸を張れる素晴らしい学び舎です。静岡英和に携わる全員が喜びと幸せに包まれていくような同窓会活動をこれからも続けていきたい。その思いをぜひ岡本美由紀同窓会長へ託し、バトンタッチしたいと願っております。

これまでのお取り組みに感謝いたします。どうもありがとうございました。



新任紹介欄

①出身地 ②趣味 ③好きなもの
④アビリティポイント ⑤一行メッセージ

◎大学・短大



人間社会学科
講師 久保 博雅

①愛媛県松山市
②声楽合唱 楽器演奏(コントラバス、聖地巡礼)
③UNISON SQUARE GARDEN(邦ロックバンド)、アニメ・声優 ポケモン、静岡の海鮮(沼津のみなど新鮮館にはよく行きます)、猫!

④日本語学、特に方言の分野が専門です。これまでも愛媛県をフィールドに研究を行って参りました。私自身も松山市方言ユーザーで、授業でも地元言葉でお話ししています。私は「自分が学生時代に教員に受けた恩を学生に返す」というのを教育のモットーとしております。大学生・大学院生時代に教員にしてみたら嬉しかったことを、今度は私自身が英和の学生に還元できるように努めたいと思います。

⑤これまで松山、広島、徳島と、瀬戸内海周遊で暮らしてきましたが、この度駿河湾の民となりました。静岡の文化、方言、生活をこれから少しずつ学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

⑥これまでも愛媛県をフィールドに研究を行って参りました。私自身も松山市方言ユーザーで、授業でも地元言葉でお話ししています。私は「自分が学生時代に教員に受けた恩を学生に返す」というのを教育のモットーとしております。大学生・大学院生時代に教員にしてみたら嬉しかったことを、今度は私自身が英和の学生に還元できるように努めたいと思います。

⑦これまで松山、広島、徳島と、瀬戸内海周遊で暮らしてきましたが、この度駿河湾の民となりました。静岡の文化、方言、生活をこれから少しずつ学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



コミュニケーション福祉学科
特例教員教授 永倉 みゆき

①静岡市
②ピアノ(ここ20年弾いていません)、ハイキング(ここしばらく行っていない)、着付け(この4月に始めました)

③静岡茶(特に川根茶が好きです)
④人に恵まれる
⑤新しい場でまた新しく歩むことが楽しい毎日です。方向音痴なので構内でうろうろ迷ってしまいましたらどうぞよろしく願います。



コミュニケーション福祉学科
講師 呉羽 かおる

②街歩きです。魅力的な路地を見かけると吸い込まれてしまいます。

③植物全般、ヴォーリス建築、水(一時は利き水ができるほどはまっています)、コジコジ
④社会福祉士・精神保健福祉士・主任相談支援専門員として、福祉の現場で相談支援業務に携わっていました。現場には大変さもあるけれど、それにも増して楽しさややりがいがあります。これまでの経験を教育の場で活かしていきたいと考えています。
⑤東京の喧騒から逃れて、静岡で生活できることをうれしく思っています。人も気候も穏やかで、とても暮らしやすい街です。せっかく緑のできた静岡のために、地域貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◎中学校・高等学校



常勤講師(英語)
伊藤 宏美

①静岡県掛川市
②旅行、観劇、フルート、ヨガ
③甘いもの全般、音楽、猫と遊ぶこと、サバカルチャー

④好奇心旺盛で、興味を持ったことにはとことんのめり込みます。国内・国外問わず一人でも気軽に旅に出ます。今一番行きたいのは青森の恐山です。

⑤「英語の英和」として知られる本校で勤務させていただけることを大変嬉しく思っています。日々生徒のみなさんと接するなかで、その素直さと実直さに私自身も学ぶことが多く、これからの学校生活がとて楽しみなです。英語を「知識」として学ぶだけでなく、「使える力」として楽しく身につけられる授業を目指し、生徒と一緒に成長していけたらと思っています。

⑥これまでも愛媛県をフィールドに研究を行って参りました。私自身も松山市方言ユーザーで、授業でも地元言葉でお話ししています。私は「自分が学生時代に教員に受けた恩を学生に返す」というのを教育のモットーとしております。大学生・大学院生時代に教員にしてみたら嬉しかったことを、今度は私自身が英和の学生に還元できるように努めたいと思います。

⑦これまで松山、広島、徳島と、瀬戸内海周遊で暮らしてきましたが、この度駿河湾の民となりました。静岡の文化、方言、生活をこれから少しずつ学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



常勤講師(養護)
上野 愛英

①山梨県甲府市
②読書、映画鑑賞、動物園や博物館や美術館へ行くこと、散歩
③フライングボート、いちご、ハシビロコウ
④心身ともに非常に健康である自信があります。養護教諭として、生徒の元気を見守る前にまずは自分自身が元気でないといけないということで、規則正しい生活を意識しています。

法人役員人事

理事の選任

(2025年4月1日付)
学校の教職員 石岡裕次郎

評議員の選任

(2024年7月1日付)
後援会・PTA役員 藤田 和敏
(2025年4月1日付)
学校の教職員 大橋 千波

学院人事

法人本部

院長 (2025年3月31日付)
柴田 敏

任用

院長 (2025年4月1日付)
永山ルツ子

大学・短期大学部

退職

教授(コミュニケーション福祉) 植田 智也
准教授(人間社会学科) 大槻 知世

採用

特例教員教授(コミュニケーション福祉) 永倉みゆき
講師(人間社会学科) 久保 博雅
講師(コミュニケーション福祉) 呉羽かおる

昇任

(2025年4月1日付)
教授(現代コミュニケーション) 栗山恵都子
准教授(人間社会学科) 菅 隆彦
准教授(現代コミュニケーション) 村松 純光
准教授(食物栄養) 小川ももこ

中学校・高等学校

退職

(2025年3月31日付)
教頭(英語) 鈴木 秀直
教諭(英語) 飯田 幸代
教諭(宗教) 武井裕賀里
(2025年4月30日付)
教諭(音楽) 三浦 正貴

採用

(2025年4月1日付)
教諭(英語) ティラーエリザベス・ジン
教諭(数学) 近藤 史生
教諭(理科) 池永 芽衣
教諭(保健体育) 真鍋 朝香
教諭(数学) 伊藤 優弥
常勤講師(英語) 伊藤 宏美
常勤講師(養護) 上野 愛英

事務局

退職

(2024年9月30日付)
学務部入試課主事補 亀田 綾菜
(2025年8月31日付)
学務部キャリア支援課主事 脇田 夏希

昇任

(2025年4月1日付)
事務部財務課課長 境 大輔
事務部入試課課長代理 小林 一広
事務部総務課係長 杉田 愛子
事務部学生課主任 荒川 大佑
事務部キャリア支援課主事 脇田 夏希

異動

(2025年4月1日付)
学務部入試課課長 後藤真理子
学務部キャリア支援課課長 松本 恭子
学務部キャリア支援課主任 小田 晃司
事務部財務課主任 松浦 和史
学務部学部事務室主事 手塚 文也

理事会・評議員会

臨時理事会

2024年9月9日
・静岡英和学院院長の選考について
・静岡英和女学院高等学校中学校校長の選考について
・静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部副学長の選任について
・静岡英和学院経理規程の一部改正について

臨時理事会

2025年3月3日
・学校法人静岡英和学院寄附行為施行細則の全部改正について
・学校法人静岡英和学院評議員会運営規則の制定について
・学校法人静岡英和学院教員の報酬等の支給の基準の一部改正について

臨時理事会

2025年3月24日
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度事業計画について
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度予算について
・理事の補欠選任について

臨時理事会

2024年10月28日
・静岡英和学院院長の選任について
・静岡英和女学院中学校・高等学校校長の選任について

臨時理事会

2025年3月24日
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度事業計画について
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度予算について
・理事の補欠選任について

臨時理事会

2025年3月24日
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度事業計画について
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度予算について
・理事の補欠選任について

臨時理事会

2025年3月24日
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度事業計画について
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度予算について
・理事の補欠選任について

臨時理事会

2025年3月24日
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度事業計画について
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度予算について
・理事の補欠選任について

臨時理事会

2025年3月24日
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度事業計画について
・学校法人静岡英和学院令和7(2025)年度予算について
・理事の補欠選任について

・理事等選任委員会の構成員（評議員）の選任について ・評議員の補欠選任について ・理事等選任委員会の構成員（理事）の選任について ・静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部学長候補者選考規程の一部改正について ・静岡英和学院学児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・職員解雇について		2025年4月14日 臨時理事会 2025年度 評議員会の日程及び審議事項について 理事候補者の選任について 2025年4月28日 臨時理事会・評議員会 会計監査人の選任について 理事の選任について 会計監査人の報酬について 理事の選任について 2025年5月26日 定例理事会 令和6（2024）年度決算の認定について 業務執行理事の選任について 理事の、他の学校法人の理事との兼務について 2025年6月30日 定例理事会・定時評議員会 令和7（2025）年度第1回補正予算について 理事長職務の代理等の順位について 静岡英和学院大学短期大学部学則の一部改正について
◆大学・短大部指定寄付 〈大学学生会〉 大学卒業記念700,000円 短大卒業記念300,000円		◆大学後援会 大学奨学金制度資金 1,760,000円 短大奨学金制度資金 1,550,000円 複合機設置寄付金503,470円 〈維持協力会〉 図書購入 200,000円 複合機設置 503,470円 〈その他〉 教育環境整備充実寄付金(64名) 1,200,000円 施設整備 104,500円 リチャードウッドワード、内田順子、上柳靖、匿名4名 静岡英和学院大学および短期大学部同窓会 200,000円
◆中学・高校指定寄付 中学・高校入学時任意寄付金(37名) 3,500,000円 高3卒業記念 365,000円 〈施設関係〉 2024年度PTA卒業生等積立金(78名) 4,634,000円 施設整備 556,000円 山本真衣、大場以久美、山下洋子、森田拓子、桑原由美、日本キリスト教団静岡草深教会、静岡英和学院同窓会東京支部、匿名13名 〈PTA〉 バザー収益金 54,377円 〈維持協力会〉 ホームカミングデイ 40,512円 体育館暗幕 957,000円 合計 17,578,329円		◆中学・高校指定寄付 中学・高校入学時任意寄付金(37名) 3,500,000円 高3卒業記念 365,000円 〈施設関係〉 2024年度PTA卒業生等積立金(78名) 4,634,000円 施設整備 556,000円 山本真衣、大場以久美、山下洋子、森田拓子、桑原由美、日本キリスト教団静岡草深教会、静岡英和学院同窓会東京支部、匿名13名 〈PTA〉 バザー収益金 54,377円 〈維持協力会〉 ホームカミングデイ 40,512円 体育館暗幕 957,000円 合計 17,578,329円

2025年度 学校主要行事表

静岡英和学院大学・短期大学部	4月 7日 (月)	入学式・ティーパーティー	4月 3日 (木)	入学式
	4月 8日 (火)	始業式	4月 5日 (土)	前期授業開始
	4月26日 (土)	メイプルコンサート	4月19日 (土) ~20日 (日)	スチューデント・リトリート(大学・短大)
	5月 7日 (水) ~ 9日 (金)	中3スタディツアー (京都・奈良)	5月17日 (土)	保護者会
	5月 8日 (木) ~14日 (水)	高2スタディツアー (オーストラリア)	9月22日 (月)	後期授業開始
	5月29日 (木)	体育祭	9月24日 (水)	9月卒業式
	9月12日 (金)、13日 (土)	英和祭	11月15日 (土) ~16日 (日)	楓祭
	11月26日 (水)	第138回創立記念日	11月19日 (水)	創立記念礼拝
	12月20日 (土)	学校クリスマス	11月29日 (土)	保護者セミナー
	1月 4日 (日)	二十歳の集い (中高卒業生対象)	12月 7日 (日)	オープンキャンパス
	3月 2日 (月)	高3卒業式・卒業記念パーティー	12月17日 (水)	クリスマス礼拝
	3月19日 (木)	中3卒業式、終業式	3月17日 (火)	卒業礼拝
	3月23日 (月) ~25日 (水)	高3修養会	3月18日 (水)	卒業式




住所変更は二次元コードから！

学院にとって大切な財産である同窓生名簿をより適切に管理し、更には学院の発展に資するものとするため、事務局にて2012年度より名簿管理システムを導入し、一元管理しております。

転居や結婚等で登録情報の変更が生じた場合は左記の二次元コードの 구글 フォーム からご入力いただくか、同封のハガキ、事務局総務課宛に電話（054-333-9223）のいずれかでご連絡ください。

名簿は諸規定により適正に管理いたします。ご自身の個人情報取扱について異議のある方は左記あてに書面にてご連絡ください。（事務局総務課 静岡市駿河区池田1789番地）

編集後記

大学・短大部のページに毎回掲載しているのが「楓祭」の記事になります。2025年度の楓祭は第60回開催の節目の年となり、記念に残る楓祭になるよう現在準備に取り組んでいます。卒業生の皆様もぜひ足を運んでみてください。

寄付金の募集について

学校法人静岡英和学院は、1887(明治20)年に当時教育の機会に恵まれなかった女子に対し、静岡の地において高い知性と教養を与えることを目的に、静岡メソジスト教会の日本人牧師の提唱に、初代静岡県知事等の地方有力者が賛同支援し、カナダメソジスト教会婦人伝道会の積極的な参加を得て、静岡県で初めての女子の学校として創設されました。現在は中学・高校・短大・大学へと学びの門戸を開き、時代のニーズに合った学びを提供しています。

これまで以上の本学学生・生徒の活躍のため、施設面をはじめとした教育体制の充実を手掛けて参りたいと思います。財源の確保は法人の自主努力によるところはもちろんですが、併せて皆様方からの温かいご支援を賜りたく、ここにご寄付のお願いを申し上げます。



POINT ご存知ですか？
税制上の優遇を受けられます！

Q 税制上の優遇措置って何？

A 寄付額に応じて減税が受けられる制度です。

例：卒業生Aさん → 英和に5万円寄付

STEP ① 税額控除

年間の寄付合計金額

$(50,000円 - 2,000円) \times 40\% = 19,200円$

寄付金控除額

年間総所得の
40%が上限



年間所得総税額の
25%が上限

STEP ② 住民税の寄付金税額控除

年間の寄付合計金額

$(50,000円 - 2,000円) \times \text{最大} 10\% = 4,800円$

寄付金控除額

年間総所得の
40%が上限



STEP ③ 総額税額控除額の決定

①と②を合計した金額を減税

合計 = **24,000円** が **減税** となります。

※上記計算例は実際の減税額と異なる場合があります。
詳細は所轄税務署までご確認をお願い致します。

インターネット寄付について

本学では2019年度よりインターネットを利用した寄付金を募っております。

24時間受付可能で決済方法もクレジットカード・コンビニ・Pay-easy に対応し、寄付をより身近なものとしていただけるようにいたしました。

スマートフォンをお持ちの方は右記の二次元コードから寄付ページにアクセスできます。

<https://www.shizuoka-eiwa.jp/donation/>



寄付金の種類



大学・短大部の施設設備への寄付

● 大学教育環境整備募金（大学・短大部）

目的：多様で優秀な人材の育成を図り、大学としての社会的指名に応えるため、教育研究施設設備充実や学生が安全で安心して学業に専念できる環境を整備する。

中高の施設設備への寄付

● 中高教育環境整備募金（中学・高校）

目的：校舎等の維持、改修を推進する一方で、テラーメイド教育やICT教育など特色ある学校づくりの実現と旧弊した校舎から21世紀型の新校舎に建て替えることで生徒の教育環境を向上させるインフラ整備に努める。

用途を限定しない寄付

● かえで基金（大学・短大部、中学・高校）

目的：用途を定めない基金。
多種多様な事業等の支援に活用いたします。

寄付金は所得・税額控除の対象となります。同封の払込取扱票(ゆうちょ銀行用)をご使用になると便利です。また、インターネットでの寄付の受付(クレジットカード、コンビニ、Pay-easy 決済対応)も可能です。

※本学院の寄付金は特定公益増進法人の主たる目的である業務に関連する所得税法第78条第2項第3号又は法人税法第37条第4項に規定する寄付金となります。

